



TANKX



YOKOHAMA

TONE

LIGHT AUTO 1



JAPAN OIL SERVICE

PIT WORK NC200 NC81





Firelex

monocolle









叶匠壽庵

2018年9月15日(土曜日)

公式練習 (P4)9:00~10:35

天候:曇-雨: コース: ドライ/ウエット 気温/路面温度:21度/23度

公式予選1回目 B組(P3) 14:15~14:25

天候:曇: コース: ドライ 気温/路面温度: 26度/29度

公式予選2回目(P5)14:50~15:00

天候:曇: コース: ドライ 気温/路面温度: 26度/29度

9月に入り、酷暑の8月から徐々に気温も下がり、初秋を思わせるスポーツランド菅生で、第6戦は開催された。

10号車は今年不運なトラブルに見舞われ、未だ表彰台に上れていない。この菅生での他車はシリーズで一番重いウェイトハンディを課されている。やはりここで大量得点を獲得したい。

天気予報では昼前からの弱雨予報。公式練習前から空は今にも雨が降ってきそうな曇り空。

そんな中オンタイムで、走行が開始された。走り出しは星野一樹から。走り出しからマシンバランスは良いようだ。その後吉田広樹と交代するが、小雨が降り始める。まだ路面を濡らすほどではないものの、ドライ路面でのセットを進める。その後は雨が止むことがなく、専有走行はウエット路面で走行を終了した。



今回のQ1は、コース幅も狭いためGT300クラスのみ2組に分かれての予選になった。組み分けはランキング順となり、10号車はB組でスタートする。路面はレコードラインはドライ。他は少し濡れている程度だった。約2分のウエイティングの後星野がスタート。スタート直後に、1台のクラッシュ車両の為赤旗中断。回収後残り9分で予選が再開された。星野は予選再開と共にコースへ。

計測1周目01 '22.253のタイムで暫定1位。その後 01' 18.924とタイムを上げていくが、61号車SUBARU、 9号車Porscheがタイムを更新。3番手でQ2に進出 した。

吉田は予選開始とともにピットを離れていく。 計測2周目に01 '18.538で暫定2番手。徐々にタイアップしていく他車。吉田はこのタイムを更新が出来ず、5番手でQ2を終えた。



triplea **WWORK** YOKOHAMA

TONE LIGHT AUTO 1

DRUG Live





JAPAN OIL SERVICE



MOTUL



Firelex

monocolle

ODYSSEY









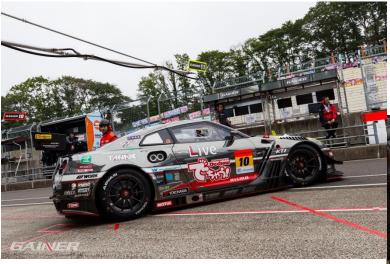
叶 匠壽庵

星野 一樹ドライバーコメント

フリー走行走り出しからチームが用意してくれたマシンのバランスは素晴らしく、予選でもポテンシャルはかなり強力なものでした! コースイン直後に赤旗中断など混乱もありましたが、それなりにまとめることが出来、グループB予選を3番手で通過する事が出来まし た。

吉田 広樹ドライバーコメント

今回はQ2を担当させてもらいました。フリー走行が安定しない路面での走行しか出来ませんでしたが、Q1を担当してくれた一樹さん やチームのアドバイスもあり、5番グリッドを獲得することが出来ました。少しミスもあり完璧なアタックとはいきませんでしたが、5番グリッ ドは戦える位置だと思いますので、マシンの速さを活かしたレースで優勝を目指したいと思います!







TANKX intriplea WORK

YOKOHAMA

TONE

LIGHT $\Delta U = 0.1$



IST/T

JAPAN OIL SERVICE

PIT WORK
NC200 NC81

MOTUL



Firelex

monocolle

Onycery









叶 匠壽庵

2018年9月16日(日曜日)

決勝 (P2)14:00~天候:晴/コース:ドライ 気温/路面温度:開始26度/37度、終盤26度/33度

天気予報に反して晴天に恵まれた決勝日。9月の3連休ということもあり、グランドスタンドや1コーナーのスタンドは、ほぼ満員となっている。 宮城県警察の白バイ5台、パトロールカー1台に先導されて交通安全啓発のパレードラップを1周行い、続いて1周のフォーメーションラップ を経て、ファーストスティントを担当する吉田がスタートしていく。

1コーナーの混乱の中、4コーナーで5号車MCをかわし4番手に。続いて25号車をストレートエンドでかわし3番手に。 3周目の1コーナーでブレーキを遅らせてアウトから9号車をパスし、トップを追いかける。トップの61号車のペースは速く、この時点で既に6秒近く前を走行。吉田のペースは悪くなく、詰めるまではいかないまでも、後続車を徐々に引き離し、10周目で7秒以内でトップを追随する。



吉田のペースは、1分21秒台から22秒台をキープ。3番手の9号車との差も20秒以上になり、吉田のペースが28周目頃から23秒台に入り初め、このペースでの周回がきつくなり、ルーティーンのピットが混まないタイミングの36周目で星野にハンドルを託す。タイヤ2本交換、無交換のマシンがある中、全車のピット作業が終わった52周目の時点で2番手とピットイン前と変わらないポジションで走行。トップとは13秒差、3番手とは15秒のギャップを持って周回を重ねる。トップの61号車はラップタイムも速く、61周目には20秒近く離されてしまう。

64周目に31号車のコースオフの為のセーフティーカーが入る。61号車との間には周回遅れが3台。SC明けのリスタートに星野は集中する。しかし、61号車のペースは衰えることが無く、星野はタイヤを労りながら2番手のポジションを確実なものへと切り替える。3番手との差もSC明けに5.5秒だったが、周回毎に離していき、76周目でチェッカーを受けたときは、12秒近く離して2番手でチェッカーを受け、今年初表彰台を獲得した。



TANNX























monocolle











BLACK FLYS 叶 医毒度

星野 一樹ドライバーコメント

タイヤ選択は決勝重視だったので、予選よりもさらに自信を持って臨みました。吉田が素晴らしいスタートスティントを走り、2番手でバトンを受け継ぎました。なんとか前を追いたかったですが、トップ車両には引き離されてしまい届きませんでした。悔しかったですが、それでも今シーズンここまで苦しい戦いが続き、自分自身も情けないミスがあったりと、かなり辛いシーズンだったので、ようやく表彰台に立てた事は素直に嬉しかったです!素晴らしいクルマを準備してくれたチームに感謝しています!この勢いで残り2戦、先ずは次戦オートポリスで優勝目指します! 応援ありがとうございました!

吉田 広樹ドライバーコメント

今回はスタートを担当したのですが、事前テストやフリー走行の感触からもマシンに速さがあるのはわかっていたので、スタートから自信をもって走ることが出来ました。2番手にあがった後はトップに追い付きたかったのですが難しく、一樹さんに無事にバトンを渡すことに集中して走りました。チームは完璧なピット作業で一樹さんを送り出し、一樹さんも長いスティントを完璧なタイヤマネージメントで走りきってくれたので、2位表彰台を獲得することが出来ました。チーム、横浜タイヤ様、そして一樹さん、どんなときも支援や応援を続けてくれているスポンサー様やファンの皆さんに、本当に感謝しています。ここ数戦は速さがあるのに、結果に繋げれないレースが続いていました。焦りなども含めて難しいモチベーションだったので、今回の2位で少しホッとしています。残り2戦も気を引き閉め、優勝を目指してベストを尽くしたいと思います!

藤井一三監督コメント

ここまで苦戦が続いた#10号車ですが、菅生大会は走行開始から状態が良く、順調に決勝へ向けて進めて行くことが出来ました。 決勝は、残念ながら#61スバルには追い付きませんでしたが、何度も前車をパッシングするシーンをお見せ出来、念願だった表彰台 もゲット出来ました。

このまま良い状態をキープして残り2戦戦って行きます。何時も変わらぬ応援を頂きまして感謝致します。



		Ranking GT300										A	
Ро	No	Driver	Rd1		Rd3	Rd4			Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	55	高木 真一 Sean Walkinshaw	5	21	О	О	25	1			52	-	52
2		嵯峨 宏紀	0	15	2	15	13	0			45	-7	45
	31	平手 晃平											
3	О	谷口信輝	3	6	3	4	18	11			45	-7	45
4		片岡 龍也	8	8	4	9	10	3			42	-10	42
'	65	蒲生 尚弥					10					10	42
5	11	平中 克幸	6	11	0	20	0	О			37	-15	37
		安田 裕信			4 =						25	4 7	
6	25	松井 孝允 山下 健太	11	О	15	О	9	0			35	-17	35
7	61	井口卓人	0	0	11	0	0	21			32	-20	32
	61	山内 英輝											
8	88	平峰 一貴	5	2	8	5	6	6			32	-20	32
9	18	中山 友貴	20	О	5	О	3	О			28	-24	28
10		藤井 誠暢	15	5	0	3	5	0			28	-24	28
	7	Sven Muller											
11	88	Marco Mapelli	5	2	8		6				21	-31	21
12	96	新田 守男中山 雄一	О	О	21	1	2	6			30	-22	30
13		吉本 大樹	0	4	6	11	0	2		_	23	-29	23
	60	宮田 莉朋											
14	10	星野 一樹	0	0	1	0	4	15			20	-32	20
15		吉田 広樹 道上 龍	0	3	0	2	0	8			13	-39	13
	34	大津 弘樹				_		8			13	-39	13
16	87	佐藤 公哉	0	О	О	6	0	0			6	-46	6
		元嶋 佑弥											
17	9	久保 凜太郎 石川 京侍	О	О	О	О	О	5			5	-47	5
18	88	Andrea Caldarelli	_	_		5	0				5	-47	5
19	52	番場琢	0	0	О	0	0	4			4	-48	4
	32	脇坂 薫一											
20	26	山田真之亮	2	О	О	-	О	О			2	-50	2
21		川端 伸太朗 Richard Lyons	0	1	0	0	0	0			1	-51	1
-1	21	富田 竜一郎											'
22	50	加納 政樹	1	0	0	0	0	0			1	-51	1
		安岡 秀徒											
23	25	近藤翼	4 /-		- つ仕	-	1		7/4	0/=	1	-51	1
		決勝順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位		10位	
		ポイント	20	15	11	8	6	5	4	3	2	1	

[※]予選ポールポジション: 1pt

BLACK FLYS

叶匠毒庵

1位:25pt、2位:18pt、3位:13pt、4位:10pt、5位:8pt、6位:6pt、7位:5pt、8位:4pt、9位:3pt、10位:2pt

[※]レース距離が700km以上の場合のポイント



Ро	No	Ranking GT300 Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind
1	55	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	8	23	3	3	28	4			69	
2	0	GOODSMILE RACING &	6	9	6	7	21	14			63	-6
3	65	K2 R&D LEON RACING	11	11	7	11	13	6			59	-10
4	31	apr	0	18	5	18	16	1			58	-11
5	11	GAINER	9	14	3	23	1	3			53	-16
6	88	JLOC	7	5	11	8	7	9			47	-22
7	25	つちやエンジニアリング	14	0	18	1	11	1			45	-24
8	7	D'station Racing	18	8	3	6	6	3			44	-25
9	18	TEAM UPGARAGE	23	3	8	1	4	3			42	-27
10	96	K-tunes Racing LM corsa	3	3	23	4	3	3			39	-30
11	61	R&D SPORT	1	0	14	0	0	23			38	-31
12	60	LM corsa	1	7	9	14	0	5			36	-33
13	10	GAINER	3	3	4	0	5	18			33	-36
14	34	Modulo Drago CORSE	0	6	1	5	0	11			23	-46
15	87	JLOC	3	3	3	9	0	3			21	-48
16	9	PACIFIC with GULF RACING	3	3	3	1	1	8			19	-50
17	52	埼玉トヨペット Green Brave	3	1	3	1	0	7			15	-54
18	50	Arnage Racing	4	1	3	3	1	3			15	-54
19	26	Team TAISAN	5	3	1	-	0	1			10	-59
20	35	arto-Panther Team Thailand	1	1	3	1	1	3			10	-59
21	21	Audi Team Hototsuyama	0	4	3	0	1	1			9	-60
22	2	Cars Tokai Dream28	1	1	3	3	1	0			9	-60
23	117	EIcars BENTLEY	1	1	3	-	1	3			9	-60
24	777	CARGUY Racing	3	1	3	-	1	_			8	-63
25	30	apr	1	1	3	0	0	3			8	-61
26	48	DIJON Racing	1	1	3	-	1	1			7	-62
27	5	TEAM MACH	0	3	0	-	1	1			5	-64
28	22	R'Qs MOTOR SPORTS	1	1	1	-	1	0			4	-65
29	360	TOMEI SPORTS	0	0	1	-	1	0			2	-67
		決勝順位	1位	2位	3位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
ポイント		20	15	11	11	8	6	5	4	3	2	
トップと同一周回			1周遅れ 2周遅れ以上で完走									
3				-	3							

TANNX

intriple a

WORK

YOKOHAMA

TONE

LIGHT AUTO I

DRUG LIVE

PENALTY:

JAPAN
OIL SERVICE
PITWORK
NC200 NC81
MOTUL

monocolle

Mysser

PIAA

BLACK FLYS 题 叶 匠寿度

1位:25pt、2位:18pt、3位:13pt、4位:10pt、5位:8pt、6位:6pt、7位:5pt、8位:4pt、9位:3pt、10位:2pt